平成25年度 第2回 まんのう町議会定例会

まんのう町告示第47号

平成25年第2回まんのう町議会定例会を次のとおり招集する。

平成25年6月5日

まんのう町長 栗田 隆義

1. 招集日 平成25年6月17日
2. 場 所 まんのう町役場議場

平成25年度第2回まんのう町議会定例会会議録（第1号）

平成25年6月17日（月曜日）午前 9時30分 開会

出席議員 15名

1番 川 西 米希子	2番 田 岡 秀 俊
3番 合 田 正 夫	4番 白 川 正 樹
5番 本屋敷 崇	6番 関 洋 三
7番 白 川 年 男	8番 白 川 皆 男
9番 大 西 樹	10番 藤 田 昌 大
11番 三 好 勝 利	12番 大 西 豊
13番 川 原 茂 行	14番 高 木 堅
15番 欠 員	16番 大 岡 克 三

+

欠席議員 なし

会議録署名議員の指名議員

12番 大 西 豊 13番 川 原 茂 行

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 青 野 進 議会事務局課長補佐 常 包 英 希

地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者の職氏名

町 長 栗 田 隆 義 副 町 長 栗 田 昭 彦
教 育 長 斉 藤 賢 一 総 務 課 長 齋 部 正 典

企画政策課長	高嶋一博	税務課長	田岡一道
住民生活課長	森末史博	福祉保険課長	川田正広
会計管理者	仁木正樹	健康増進課長	奈良泰子
建設土地改良課長	池田勝正	産業経済課長	久留嶋一之
琴南支所長	雨霧弘	仲南支所長	和泉博美
学校教育課長	尾崎裕昭	社会教育課長	脇隆博
水道課長	天米賢吾	地籍調査課長	高橋守

○大岡克三議長 おはようございます。

ただいまの出席議員は15名であります。定足数に達しておりますので、これより平成25年第2回まんのう町議会定例会を開会いたします。

招集者であります町長の御挨拶をお願いします。

町長、栗田隆義君。

○栗田隆義町長 皆さん、おはようございます。本日は、平成25年第2回まんのう町議会定例会を招集いたしましたところ、公私ともに御多忙の中、御参集をいただきましてありがとうございます。

まんのう町とNHK高松放送局では、スポーツセンターまんのうの落成記念事業として、NHKのど自慢を9月8日に実施いたします。この番組は「明るく！楽しく！元気よく！」をテーマに、地域の皆さんの元気な歌声を全国にお届けいたします。

そして、きょう、実施要領が発表されます。注目のゲスト歌手は、氷川きよしさんと伍代夏子さんに決まりました。詳しい内容、出場申し込み、観覧申し込みにつきましては、まんのう広報7月号にチラシとともに掲載いたします。

本日上程いたしておりますのは、議案6件、諮問1件でございます。慎重審議の上、御決定賜りますようお願いを申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。

○大岡克三議長 直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に入るに先立ちまして、議会報告をいたします。

事務局長、青野進君。

○青野事務局長 それでは、御報告申し上げます。

初めに、町長から地方自治法第149条の規定に基づく議案6件を受理いたしました。

次に、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づく諮問案件1件を受理いたしました。

次に、組合議会関係について、平成25年2月21日、平成25年第1回香川県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催され、議案第1号 平成25年度香川県後期高齢者医療広域連合一般会計予算外6件の審議がされております。

次に、平成25年2月22日、平成25年中讃広域行政事務組合議会2月定例会が開催

され、議案第1号 平成24年度中讃広域行政事務組合一般会計補正予算（第4号）外12件が審議されております。

平成25年3月23日、香川県中部広域競艇事業組合議会3月定例会が開催され、議案第1号 モーターボート競走施行に係る事務の委託に関する協議について（丸亀市）外1件が審議されております。

次に、平成25年3月28日、平成25年第1回仲多度南部消防組合議会定例会が開催され、議案第1号 平成24年度仲多度南部消防組合一般会計補正予算（第3号）外1件が審議されております。

平成25年5月27日、平成25年第1回仲多度南部消防組合議会臨時会が開催され、議案第1号 仲多度南部消防組合消防緊急デジタル無線設備設置工事請負契約が審議されております。

平成25年6月3日、平成25年中讃広域行政事務組合議会5月定例会が開催され、議案第1号 監査委員（識見を有する委員）選任の同意について外6件が審議されております。

次に、監査関係ですが、まんのう町監査委員より、平成25年1月分から平成25年4月分の一般会計収支、各特別会計収支及び水道事業会計収支の出納検査の報告が参っております。

次に、町長より、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告第1号として平成24年度まんのう町繰越明許費繰越計算書の報告。次に、町長より、地方公営企業法第26条第3項の規定により、報告第2号として、平成24年度まんのう町水道事業会計予算繰越報告。また地方自治法第243条の3第2項の規定により、報告第3号として、まんのう町土地開発公社の経営状況に関する書類。報告第4号として、一般財団法人ことなみ振興公社の経営状況に関する書類。報告第5号として、有限会社仲南振興公社の経営状況に関する書類の提出がありましたので、お手元に配付してある書類をもって報告にかえさせていただきます。

以上で議会報告を終わります。

○大岡克三議長 議会報告を終わります。

日程第1 議会運営委員会報告

○大岡克三議長 日程第1、本日の議事日程等について、議会運営委員会の報告を願います。

議会運営委員長、藤田昌大君。

○藤田議会運営委員長 おはようございます。議会運営委員会の6月定例会運営に関する報告を申し上げます。

去る6月10日、午前9時30分より、第1委員会室におきまして、町長、副町長、総務課長、議長同席のもとに議会運営委員会の委員6名全員が出席し、6月定例会の運営に

ついて慎重に審議いたしました。

6月定例議会については、昨年の6月定例会のときに、土・日議会を提案してはどうかと提案しましたがけれども、来年に持ち越そうということで、ことし6月議会をそういうふうに予定し、総務課長と話をする中で、一応開会を14日にしようということでありましたがけれども、全員協議会の中で、その必要はないということで決まりましたので、予定がきょうになったということをお知らせしておきます。

そして一般質問についても、質問時間を十分保障しようということで2日間を提案しましたがけれども、多数決の中で、1日でもいいということで、こういう結果になったことをまず報告しておきます。

それでは、お手元に配付されております議事日程第1号について御説明を申し上げます。

日程第1 議会運営委員会報告 議会運営委員長

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定 本日より6月26日の10日間といたします。

日程第4 町政報告

日程第5 所管事務調査の委員長報告 教育民生常任委員長

日程第6 所管事務調査の委員長報告 建設経済常任委員長

日程第7 所管事務調査の委員長報告 総務常任委員長

日程第8 議案第1号 まんのう町税条例の一部改正について、総務常任委員会に付託。

日程第9 議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正について、即決でお願いいたします。

日程第10 議案第3号 まんのう町介護保険条例の一部改正について、教育民生常任委員会に付託。

日程第11 議案第4号 まんのう町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について、教育民生常任委員会に付託。

日程第12 議案第5号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算案(案)第1号、総務常任委員会に付託。

日程第13 議案第6号 平成25年度まんのう町水道事業会計補正予算(案)第1号、建設経済常任委員会に付託。

日程第14 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について、即決でお願いいたします。

一般質問については、6月18日の本会議で行います。

以上の日程で意見の一致を見、午前11時45分、委員会を閉会いたしました。

以上で議会運営委員会の報告を終わります。以上です。

○大岡克三議長 これをもって、議会運営委員会の委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第2 会議録署名議員の指名

○大岡克三議長 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定により、議長において、12番、大西豊君、13番、川原茂行君を指名いたします。

日程第3 会期の決定

○大岡克三議長 日程第3、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から6月26日までの10日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大岡克三議長 異議なしと認めます。

よって、会期は10日間と決しました。

日程第4 町政報告

○大岡克三議長 日程第4、町政報告を行います。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 それでは、3月議会以降の町政報告をさせていただきます。

本年は平年より9日早く5月27日に四国地方の梅雨入りが高松地方気象台により発表されましたが、その後はまとまった雨もなく、近年にない少雨状態が続いていることから、農業だけでなく住民生活への影響が心配でございます。

まず、町内の各ため池貯水状況でございますが、田植えがまだの池につきましては、ほぼ100%の水量を確保しておりますが、それ以外の池は確実に減少しているところでございます。満濃池におきましても、6月15日時点では、ほぼ平年並みの85%の貯水量の中、無事にゆる抜き神事がとり行われ、中讃地域では、初夏の風物詩である田植えが本格的に始まったところであります。

今後はそれぞれのため池貯水状況を注視しながら、水を多く使用する夏場を迎え、住民の皆様へ上水道も含めて湧水に備えた節水に心がけていただけるようお願いを申し上げていくところでございます。

次に、PFI事業における満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業では、4月6日に満濃中学校開校式が無事とり行われ、本格的な供用開始となったことから、生徒たちには安心して勉強に、そして部活動にと切磋琢磨していただける学校施設環境が整ったところでございます。

このことから、学校関係における耐震整備も残り5カ所となり、今後3年ほどで全て整備完了となる予定であります。

また、並行して開館いたしました町民体育館である「スポーツセンターまんのう」でも、

社会人を対象としたさまざまなプログラムがスタートいたしました。健康器具や専門のスタッフが充実しているながら費用も1回250円と安価なことから、健康づくりの核として大いに活用していただければと思っております。利用者状況では、日増しにふえてきているとのことでした。

そして、2カ月おくれの6月1日に開館いたしました町立図書館では、多くの住民が来館されるとともに、小さな子供たちが目的の本を食い入るように読んでいる姿を拝見し、改めて関心の高さと本の魅力を強く感じたところであります。

今後も電子書籍など最新の情報端末の利用促進と速やかに計画蔵書数を確保することで図書館としての質とサービスを高めながら、活字に親しめる環境整備を推進することで文化教養が薫る文教地域を確立していくものであります。そして、皆さんの「知りたい」「調べたい」「楽しみたい」にお答えするため、豊富な資料や新鮮な情報を御用意し、皆さんのお越しをお待ちしております。

なお、本年もまだ旧校舎等の解体やグラウンド整備工事が残っておりますので、生徒たちの学習環境並びに周辺住民の皆様には迷惑とならないよう、細心の注意を払いながら事に当たっていただけるよう、事業者には注意喚起を行ってまいり所存でございます。

そして、維持管理業務もことしからスタートすることになりますが、細部に至っては、まだまだ事業者である特別目的会社との協議が必要でありますので、今後も問題点と課題を克服しながら、限りある予算の中、最大限の効果が出るよう知恵を絞り、本町の特色を生かした魅力のある「住みたい、住み続けたい町」と思っただけけるよう最善を尽くしますので、議員の皆様方におかれましても、さらなる御提言とお力添えをいただきますようお願いを申し上げます。

学校教育関係では、本年度の町内小・中学校の新入学生は、小学生166名、中学生147名で、昨年より42名の増加となっております。保育所、幼稚園の入所・入園状況では多少の増減はありますが、当分の間は150名前後で推移するものと思われます。町の活性化のためには、人口減少をいかに歯どめがかけられるかにかかっておりますので、定住促進施策を鋭意推進していかなければならないと考えております。

次に、本年も5月19日の神野地区を皮切りに6月2日の仲南地区までの7カ所で各地区自治会長様を初め役員の方々と町政懇談会を開催いたしました。事前に御質問をいただいていたことから、懇談会はスムーズに運営することができ、住民との距離が一層近くなった感を強く感じたところでございます。

続きまして、地域公共交通会議関係における「あいあいタクシー」の24年度実績は1万97名であり、1日当たりでは41名程が御利用いただいております。23年度と比較しますと、残念ながら408名の減少となっていることから、再度運行方法の再検討を行い、交通弱者の足として喜んでいただける公共交通となるよう、さらなる努力を重ねていく所存でございます。

次に、健康増進関係では、ワクチン接種緊急促進事業として子宮頸がんワクチン、ヒブ

ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを実施していますが、第1回目接種率は8割を超えているところであります。

また、本年度から新規事業として子育て支援を求めている方に対して、子育て経験者等のベテランで援助が可能な方との間を取り持つ「子育てボランティア事業」をスタートいたします。これらがうまく機能することで、少しずつですが、住みやすい町になるものと確信しております。

次に、福祉保険関係では、障害者自立支援給付をめぐる裁判の第4回口頭弁論が4月15日に開催され、原告代理人による意見陳述に始まり、被告である町側の提出した証拠書類の確認と支給決定時間の積算根拠を求められているところであります。町といたしましては、できる限りの説明資料を作成し、7月1日の公判に万全の体制で臨むところでございます。

敬老会につきましては、昨年から地区別の分散開催となりましたが、その成果と課題を踏まえ、改めて本年も各地区が主体となり、創意工夫により地域の特色を生かした敬老会が開催されるものと考えております。

次に、防災についてでございます。ことしの夏ごろには、香川県より各市町ごとの南海トラフ巨大地震による被害想定が公表される予定であることから、本町も地域防災計画の修正版を策定して防災会議で御審議いただくこととなると考えております。

また、4月13日の早朝発生いたしました淡路島周辺を震源地とした地震では、各戸に設置している音声告知器より緊急地震速報が正確に発報されたことから、住民間には危機意識が高まり、地震災害が自分のこととして現実味を帯びてきていることを強く感じていただけたと思っております。

これらのことから、積極的な防災意識の向上を図るため、本町では、この4月から防災士の資格取得における支援を行うことといたしました。また、自主防災組織の育成推進事業も積極的に推進してまいりますので、多くの地域から組織設立要望が出てくることを期待するところでございます。あわせて、各地区集会所で防災研修を計画していただければ、防災担当が直接お伺いして非常時対応の方法を説明させていただきますので、一件でも多くの自治会からの要請をお待ちしております。

続きまして、交通安全関係でございます。交通安全につきましては、各種団体等によるさまざまな交通安全施策に御尽力をいただいたことが功を奏し、交通死亡者数は、昨年12月7日以降ゼロ人と大変喜ばしい状況が続いております。物損事故数でも昨年同期で26%の大幅減となっているところですが、これからも気を緩めずに、各種団体、警察と連携を密にしながら、悲惨な事故撲滅の啓発活動を継続して強く推進していくところであります。

次に、建設土地改良関係では、10万トン以上のため池ハザードマップ作成が3年目を迎え、今年で最後となる羽間池を実施する予定であります。なお、調査・整理が終了しているため池につきましては、該当する被害想定区域住民に対しての公表準備を進めている

ところであります。

そして、大変関心の高い満濃池のハザードマップ作成では、本町が事業主体となり昨年度に調査が終了いたしておりますが、災害時における他のため池との複合被害想定が必要となりますので、2市3町の被害想定状況を集約しながら公表につなげたいと考えております。また、県が行った耐震診断結果もあわせて報告できればと思います。これにより、御心配されている住民の不安を少しでも緩和し、緊急時の避難経路確保に役立てていただければと考えております。

次に、四国に唯一の国営讃岐まんのう公園が、この4月21日に350ヘクタールの規模で全園開園となりました。昭和59年4月に事業着手の後、平成10年4月の一部開園に始まり、追加開園を繰り返しながら、15年の歳月をかけ、グラウンド・オープンの暁となったところであります。今後は、本町の観光拠点として周辺地域の活性化に寄与されることを切に望むものであり、さらには本町との連携を密にすることで相乗効果が高まり、双方の発展に結びつくものと確信いたしております。

次に、産業経済関係では、4月28日に国営讃岐まんのう公園において「春らんまんフェスタ・まんのうの日」を開催いたしました。当日は快晴で1万4,534人と過去最高の来場者を迎え、まんのう町のよさをしっかりとアピールできたと思っています。

5月12日には、春の商工振興の一環として好評中のプレミアム商品券を2,000万円分発行いたしました。少額セットであったことから、好評の中、午前中の早い段階で売り切れたところがございます。秋には再度増額の上、町内商工業者の活性化と地域振興の観点から、住民に喜んでいただけるプレミアム商品券発行を実施する予定でございます。

次に、山間地域で日増しにふえている鳥獣被害でございます。最近では、イノシシだけでなく、猿の被害も多く寄せられてきていることから、県と連携して生態調査を進めながら被害対策を検討したいと思っておりますが、まずは、野生鳥獣の餌となる収穫放棄された果樹や農作物残渣をなくすること、耕作放棄地や放棄竹林をなくすことなどにより、地域ぐるみで人家周辺の環境を整備し、野生鳥獣が進入したり定着したりしないような、野生鳥獣にとって魅力のない地域づくりを進めることが大切と考えております。

以上、簡単ではございますが、3月定例議会以降の町政の一端を御報告いたしました。

新年度が始まり、厳しい財政状況ではございますが、住民本位の政策を真摯に実行してまいりますので、今後とも議員各位におかれましては、御理解・御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

なお、各課の町政報告につきましては、お手元に御配付させていただいておりますので、お目通しをお願いいたしたいと思っております。

○大岡克三議長 町政報告を終わります。

日程第5 所管事務調査の委員長報告（教育民生常任委員長）

○大岡克三議長 日程第5、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

教育民生常任委員会の所管事務調査について委員長の報告を求めます。

教育民生常任委員長、高木堅君。

○高木堅教育民生常任委員長 それでは、ただいまから教育民生常任委員会の委員長報告を行ったらと思います。

去る6月5日、午前9時30分より、第1委員会室におきまして、委員全員、執行部より町長、副町長、教育長、総務課長、所管課長全員出席により、教育民生常任委員会を開催いたしました。

議題は、所管事務調査について、その他であります。

町長、教育長挨拶の後に、現地調査のため、高篠幼稚園の駐車場用地、満濃南幼稚園の通路、満濃中学校の校舎と体育館、大川山交流施設の改修工事現場、仲南地区の幼保一元化施設建設候補地をそれぞれ視察をいたしました。

その後、第1委員会室におきまして、まず、教育長から、満濃中学校で起きた不適切なDVDの映像問題で、事件の経緯とその後の対応について報告がありました。また、生徒の心理面への配慮を第一に考えるとともに、教育者側の綱紀粛正と再発防止に努めていくとの説明があり、委員より、まんのう町のイメージダウンにつながっており、今後指導を十分に行うよう意見がありました。

次に、琴南支所長より、平成24年度の内科・歯科診療所の診療の実績報告があり、内科・歯科ともに前年より受診件数、診療報酬総額は減少しており、特に内科診療においては、診療報酬総額が前年度比63.3%と大きく抑えられ、診療所の適正な運営がなされているとの報告がございました。

委員より、今後も医師と協力し、僻地診療所の適正な運営を継続して行っていくよう意見がありました。

次に、住民生活課長より、行事報告、人口・世帯数、住民異動届受付件数、戸籍・住民票等の発行状況、夜間窓口受付件数、塵芥処理事業、野犬保護件数及び犬猫の補助金、火葬事業、し尿処理事業、資源ごみ収集実績、不法投棄処理件数、浄化槽設置整備事業、太陽光発電システム設置費補助事業の実績等についてそれぞれ説明がありました。

委員より、合併浄化槽の適正な維持管理ができていないケースがあり、適法に管理されていないものを把握し、指導を強化すべきであるとの意見がありました。執行部より、県の関係機関と連携して、しっかりと適切な指導を行っていきたいと答弁がございました。

また、委員より、悪質な太陽光発電関連の電話勧誘等が頻発している件について、被害を出さないよう注意喚起を促す必要があるとの意見があり、執行部より、今後広報等で周知をしていくとの答弁がありました。

次に、福祉保険課長より、戦没者追悼式開催状況、障害者自立支援給付に関する行政事件訴訟の経過報告、乳幼児医療の状況、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業の状況、金婚式事業についての祝い金にかえて金婚を証する証書を渡したいとの敬老祝い金事業について、今年度で支給対象者や支給方法、支給額の見直しをしたいとのこと。また

敬老会について、前年度の成果と反省を踏まえ、地域主体の特色あるものにしていきたいこと。福祉関係の指定管理者制度の指定等について、それぞれ報告と説明がございました。

委員より、敬老会の実施に当たり、参加者1人当たりの開催事業費を2,000円と設定した根拠について質疑があり、執行部より、昨年度の反省から、全地区で単価の統一を図ることとなったとの説明がございました。

また委員より、敬老祝い金の支給について、100歳を超えた人に毎年祝い金5万円を渡しておりましたが、100歳の節目の1回としてはどうかとの意見がありました。執行部より、委員の意見を参考にし、条例改正をも含め、見直しを図っていきたいとの答弁がございました。

また委員より、権利擁護事業の虐待相談について質疑があり、執行部より、プライバシー上、詳細な説明はできないが、高齢者が虐待を受けているのではないかという相談が1件あったとの報告がございました。

また委員より、戦没者追悼式の会場運営の方法について意見があり、執行部より、厳粛な儀式であり、遺漏のないように配慮していきたいとの答弁がありました。

次に、健康増進課長より、行事報告、新規事業の子育てボランティア事業で、子育て支援を計画していること。予防接種事業実績、特定健診実績、中讃圏域健康生きがい中核施設の利用実績、温泉バスの利用実績、鳥インフルエンザの発生状況、風疹の流行状況と周知について、それぞれ報告がございました。

十 委員より、子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種により、町内の重篤な副作用を起こしたケースがあるのかとの質疑があり、執行部より、町内で副作用があったとの連絡は受けてないとの答弁がございました。

また委員より、先天性風疹症候群の出産を防止するために、風疹ワクチン接種の必要性を効果的に啓発する必要があるとあり、婚姻届受け付け時に窓口で周知等をするようにしてはどうかとの意見があり、執行部より、婚姻届け出等の機会を活用し、啓発していきたいとの答弁がありました。

また委員より、子育てボランティア事業の概要について質疑があり、執行部より社会福祉協議会に業務委託する予定で、子育ての援助を必要とする人を支援するための事業であるが、今後、関係機関と協議・調整を重ね、実施は来年度からする予定である。また、本年度予算は子育てボランティアに登録する人を対象とした講習会の実施や、システムの構築代に充てる予定であるとの答弁があり、委員より、登録するボランティアとの信頼関係をいかに築けるかが重要な点であり、ボランティアに登録するメンバーによって利用度が大きく変わると予想されているので、留意するよう、意見がありました。

次に、学校教育課長より、主要行事報告、町内児童・生徒・園児・入所児数、早期支援教育コーディネーター事業で発達障害に関して小学校で6件、幼稚園で1件の相談があり、保護者から14件の相談があったこと、仲南地区幼保一元化に伴う用地の測量設計を発注し、7月に用地図面ができる予定であること、満濃中学校旧校舎棟解体に伴う周辺住民へ

の周知が終わり、騒音等の影響調査も完了して、5月7日から壊しに入ったこと、県独自の事業で小学4年生を対象に糖尿病検査をする予定であること、休止をしている電子私書箱システムについて、個別外部監査の指摘もあり、またマイナンバー制度の実施が決定したことに伴い、中讃広域行政事務組合で制度の共通利用を考え、代替サービスを展開するが、コストをかけずによいものにできるのではないかと判断し、PFI事業での電子私書箱システム導入は中止したいと報告がございました。

委員より、電子私書箱システムの導入は中止すべきで、PFI事業費の減額が必要であるとの意見があり、執行部より減額する予定であるとの答弁がありました。

また委員より、体育館内壁の建材の仕様が町に無断で変更された件について、建設者側に対し、減額請求も含めた交渉と対応を行う必要があるとの意見があり、執行部より建設者側に改修の指示をしているが、瑕疵部分の減額要求については、専門家と協議をし、判断をしたいとの答弁がございました。

また委員より、体育館の内壁以外の箇所についても無断で変更を行っている可能性がないとは言えず、瑕疵や施工不良箇所を顕在化させるために、第三者機関で再検査しなければ納得ができない。また、再検査ができないのであれば、瑕疵等がないことを証明し得る書類を提出するべきではないかとの意見があり、執行部より、大成建設側に今後このようなことが起きれば責任を持って対応させる確約をとることについて、専門家と協議を行っているところであるとの答弁がありました。

また委員より、旧校舎棟解体現場に防音ネットが設置されておらず、解体時の騒音が発生しており、授業や周囲の住民の生活に影響が出ると思われるので、早急に取り付けをさせるべきである。また、外見からわかる施工不良箇所も散見されたので、大成建設側に指摘をすべきであるとの意見がありました。

また、体育館内壁の不可視部分の段階別施工記録写真の提出を求めました。

次に、高篠幼稚園の駐車場用地について、委員より、高篠地区の人口の増加を見越して、条件のいい駐車場用地の選定と確保をするよう意見がありました。執行部より早急に検討するとの答弁がありました。

次に、満濃南幼稚園西側の通学路について、委員より、用水路の管理道で通学路には適さないとの意見があり、執行部より、通学路として使用しないよう学校側に指導したいとの答弁がありました。

次に、仲南地区の幼保一元化について、委員より全体構想を早急につくるよう、また開園時期について、公言を履行すべきであるとの意見がありました。

次に、委員より、琴南地区の子供に、よりよい教育環境を提供し、特色ある教育が行えるように、保護者のニーズや意見を聴取し、今後の教育施策に反映できるよう、協議の場を設けてはどうかと意見があり、執行部より、純粹に教育面で保護者が何を必要とし、どんな意見を持っているのかを聞く場を設けることは教育行政を進める上で必要だと考えているとの答弁がございました。

次に、社会教育課長より、社会教育、人権教育、社会体育、文化財、高齢者教育、女性教育、青少年教育、通学合宿、国際交流、文化交流、公民館、施設整備、図書館、体育館等について説明がありました。

委員より、町立図書館の棚の最下部の本の配置について質疑があり、執行部より利用者の要望に基づいて改善を行うよう検討していきたいとの答弁がありました。

また、委員より、大川山交流施設の改修工事について、山中であるが、周囲の環境に十分配慮し、施工を行うよう、また工事行程会議等の手順を十分踏まえ、工事を行うよう意見がありました。

また、委員より、体育館の使用料金の徴収の是非について、利用団体の活動趣旨等を十分勘案し、慎重に検討を重ねる必要があるとの意見がございました。

以上、所管事務調査を行い、午後8時に委員会を閉会いたしました。

続きまして、去る6月12日、午前9時30分より、急遽第1委員会室におきまして、委員全員、執行部より町長、教育長、総務課長、満濃中学校改築対策室出席により、教育民生常任委員会を開催いたしました。

議題は、町立体育館内壁の施工について、旧校舎棟解体工事について、新聞報道への対応について、その他でございます。

町長、挨拶の後、執行部より、体育館内壁の壁材材料検査写真・下地写真・施工状況写真等の資料が提出され、説明がありました。また、体育館内壁の改修工事施工計画について、議会で説明を行う予定である旨、説明がございました。

前回の委員会で、委員の指摘のあった旧校舎棟の解体工事現場の防音・防じんシートの設置について、執行部より旧校舎棟北面と東面、南面に設置を完了するまで、解体作業中断の指示をしたこと、足場のアンカーを旧校舎側にとるために、防音シートを設置できない場所が発生する可能性があることの報告がございました。

また、中学校の洗米機の中に、グレーのプラスチック状の異物が混入していたとの報告を受け、調査したところ、他の箇所の水道の蛇口からも同様のものが出ていた。大成建設側に異物の特定を行わせたところ、水道の配管用のコーキング材が固化したものだろとうということで、洗米機にはストレーナーを、水道の蛇口には、応急でフィルターを取りつけ、今後の対策を考えているとの報告がございました。

また、洗浄用移動式シンクの排水について、利便性を向上させるために排水溝を新設する予定であるが、工事費用は大成建設側の負担とすること、体育館の天井から断熱材であるグラスウールのとめ金の目隠しカバーが数個落下していたとの報告があり、原因を調査しているとのこと、学校用地の西側の林股用水路の油膜の発生が確認され、発生源の調査と油の成分を検査しているとの報告がございました。

委員より、建設や解体工事を行う上で、施工図面等をもとに、議会と十分協議を行っておく必要があったのではないかとの意見がありました。

また委員より、新聞報道にある体育館内壁工事について、下請業者側の瑕疵とも受け取

られかねない表現があり、下請業者に迷惑をかけるおそれがあるので、取材を受ける際に、執行部は各メディアに統一性を持ち、的確に回答するよう、意見がありました。

また委員より、体育館内壁工事の件で大成建設側に対する不信感があらわになっている、またこの事件は氷山の一角ではないかとの発言が相次ぎ、執行部は疑念を払拭するために、施設の詳細な検査を第三者機関で行い、証明する必要があるのではないかとの意見がありました。

執行部より、契約では町の承諾なしに変更することを禁止していること、現在体育メーンアリーナの内壁工事に関する事実関係を洗い出していること、他に未協議の設計変更がないか、大成建設側に関係書類の提出を求めていること、弁護士等専門家の意見を聞きながら今後の対策を行うとしているとの答弁がございました。

委員会として、一連の事件で25年間の長期にわたるPFI事業全体についても、相手側に対し、強い不信感を抱くこととなったので、議会側の対応を今後十分考えていく必要があるとの意見を取りまとめ、午前11時15分に委員会を閉会いたしました。

以上で、教育民生常任委員会の委員長報告にかえさせていただきます。

○大岡克三議長 これをもって、教育民生常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

3番、合田正夫君。

○合田正夫議員 ちょっと、委員長に意見を聞きたいと思いますので、よろしく願います。 十

今、満濃中学校の改築をしている問題で、大成側にいろいろな問題になっていることに対して、教民として、大成に来てもらい、謝罪をしてもらう意見が出たのかどうか。

それと、委員長として、これから、今からが肝心なので、これからどのように考えているのか答えていただきたい、これが第1点目の質問。

あと2点目は、これが済んでからします。よろしく願います。

○大岡克三議長 14番、高木君。

○高木堅教育民生常任委員長 合田議員が今言われた、大成の謝罪云々の発言がございましたが、それに関しては、とりあえず緊急に委員会を明くる日に招集し、十分内容を把握しなくてはいけないし、また、今、委員長報告もしたとおりでございますが、そういった委員から、きつい質問がございました。なお、大成側の要請云々ということに関しては、執行部側、また議会側が議長と相談しながら、今後進めていくべきではないかと判断しております。そのときには、呼べということは、呼んで謝罪ということはありません。あの場では、やっぱり十分原因、要因を把握、今後しなくてはいけないということで、呼んでおりません。

○大岡克三議長 3番、合田君。

○合田正夫議員 特別委員会ではできなかったことを、これから教民の委員会で、特に

言っていただきたいと思いますので、よろしく願いいたしたいと思います。

○大岡克三議長 14番、高木君。

○高木堅教育民生常任委員長 今、合田議員が言われましたが、大変厄介な、今後の問題が次々と私どもの委員会で審議しなくてはいけないのではないかと思います。ほかの議員の皆さん方とともに、やはりいろいろな意見を交換しながら、的確な、よりよい今後の対応策を考えていくべきではなかろうかと思えます。なお、執行部、議長、十分その辺を協議しながら、我々議会にも、委員会にもそういった方向を相談をしていただきたい、かように思います。以上です。

○大岡克三議長 3番、合田正夫君。

○合田正夫議員 ありがとうございます。よろしくお願いします。

それと、2点目に移りたいと思いますが……。

○大岡克三議長 3回目です。

○合田正夫議員 いやいや、もう今のは、問題はもうそれでええんで。もう一つ。

○大岡克三議長 委員長報告の3回目ですので、これで……。

○合田正夫議員 もう一つの意見を言うてあるんで。

○大岡克三議長 はい、それを言ってください。

○合田正夫議員 二つ目のあれで、ちょっと意見を言わせていただきます。

南小のランチルームの、去年夏からことしの2月まで改築を町内業者がしたということで、5月19日に南小の運動会があつて、地域の方とか議員の皆、何人かの議員も行って、給食のときに、床のあれがもう何カ月かで、もうがたがたになっておるとい意見を教育委員会に出したという意見を聞いておりましたが、また、この間うちから、地域の方々から意見を聞いてこいと言われて、3日ほど前に、二、三人の議員と、ちょっと見に行つてまいりました。そのときに、けがをせなんだらええんじゃけど、なるべく早う直してもらうようにしてもらいたい。教育民生の委員会で、委員会として、そこへ見に行つたか、行かんか、それをちょっとお聞きしたいと思えます。

○大岡克三議長 14番、高木君。

○高木堅教育民生常任委員長 私が先ほどから長時間にわたつて委員長報告をした件についての委員長報告はさせていただきました。

それは、その間には見ておりません。委員会審議の中には含まれておりません。

○大岡克三議長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第6 所管事務調査の委員長報告（建設経済常任委員長）

○大岡克三議長 日程第6、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

建設経済常任委員会の所管事務調査について委員長の報告を求めます。

建設経済常任委員長、川原茂行君。

○川原茂行建設経済常任委員長 それでは、建設経済常任委員会委員長報告をさせていただきます。

去る5月31日、午前9時30分より、第1委員会室におきまして、委員全員、議長同席のもと、執行部より、町長、副町長、総務課長、所管課長全員出席のもと、建設経済常任委員会を開催いたしました。

議題は、建設経済関係の所管事務調査、その他であります。

町長挨拶の後、現地調査をし、天神山水道緊急遮断弁装置設置箇所、かりん会館バリアフリー化工事完了箇所、町道帆山本目線道路改良予定箇所、道德寺橋橋梁かけかえ箇所、中熊地区農道改良箇所、平野地区農道改良箇所、常包・天神地区農道舗装箇所、長尾地区圃場整備予定箇所を視察し、また琴南西谷地区において県みどり保全課よりニホンザルの被害と対策方法について説明を受けました。

その後、第1委員会室において、地籍調査課長より、調査完了地区事務処理状況報告、平成25年度地籍調査実施計画等について、報告がありました。

次に、産業経済課長より、農業委員会定例会等の実施状況、農業経営者協議会総会等各種会合実施状況、農事組合KANNOの設立、塩入地区町有林のフォレストマッチング協働の森づくり植林活動、平成25年度買い物支援事業で、仲南地区をモデル地に実施を予定していること、また出張ハローワークにより就業相談が行われたことなどについて、報告と説明を受けました。

委員より、かりん会館の運営について、観光地であり、集客率を向上するため、定休日を廃止し、年末年始以外は開館しておくほうがよいのではないかとの質疑があり、執行部より、人員配置・経費等のこともあり、今後検討していきたいとの答弁でありました。

次に、建設土地改良課長より、土地改良・公共土木等の事業進捗状況、ため池の貯水状況、下水道・農業集落排水事業、ため池ハザードマップ支援事業、農業基盤整備促進事業、橋梁長寿命化対策事業、国・県の町内工事施行予定箇所等について報告及び説明がありました。

委員より、高篠地区は、新興住宅が増加しているが、東西をつなぐ幹線道の整備がおくられており、交通の利便性が悪いため、町道の改良または新設を計画してはどうかとの意見があり、執行部より財政的に逼迫した状況の中で、道路整備については優先順位をつけて実施をしているが、今後検討していきたいとの答弁がありました。

また、委員より満濃池のハザードマップの公表時期について質疑があり、執行部より、現在満濃池下流の10万トン以下の池に関して、関係市町がため池決壊時の浸水被害の調査を行っている段階であり、また県が満濃池の耐震診断の調査データをもとに、香川県ため池耐震化整備検討委員会で、ため池の耐震化に関して審議途中であることから、公表時期については、県検討委員会の審議結果の公表後に速やかに行いたいと考えているとの答弁がありました。

十

委員より、住民と行政の間では、防災情報の開示に関する意識に乖離があるのではないかとの意見がありました。

また委員より、さきの下水道料金の賦課漏れの件について質疑があり、執行部より対応をした結果、理解を得られ、順調に納入されているとの答弁がありました。

また委員より、農地・水保全管理支払交付金事業を展開していく上で、町の財政負担が伴うこととなるが、積極的な推進が必要であると思うが、どのように考えているかとの質疑があり、執行部より、町の財政は厳しいが、町の環境保全を図る上で重要な施策であり、今後も推進を図っていききたいとの答弁がありました。

次に、水道課長より、水源の貯水状況報告について、四条浄水場の取水量の低下と対策について、県内水道広域化への参加是非の判断について、第1次意思表明を本年度末までに行う必要があること、照井第2水源地築造工事を水稻収穫後発注する予定であること等の説明がございました。

委員より、老朽化した水道管の布設がえを計画的に行っているかとの質疑があり、執行部より、毎年順次更新をしていくようにしているとの答弁がございました。

以上、所管事務調査を行い、午後5時に委員会を閉会いたしました。

以上で、建設経済常任委員会の委員長報告を終わります。

○大岡克三議長 これをもって、建設経済常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

十 ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。 十

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終了いたします。

ここで、議場の時計で10時45分まで休憩といたします。

休憩 午前10時31分

再開 午前10時45分

○大岡克三議長 それでは、休憩を戻しまして、会議を再開いたします。

日程第7 所管事務調査の委員長報告（総務常任委員長）

○大岡克三議長 日程第7、所管事務調査の委員長報告の件を議題といたします。

総務常任委員会の所管事務調査について、委員長の報告を求めます。

総務常任委員長、大西豊君。

○大西豊総務常任委員長 総務常任委員会の委員長報告を申し上げます。

去る5月30日、第1委員会室におきまして、委員全員出席し、町長、副町長、教育長、総務課長、会計室長、満濃中学校改築対策室、議長同席のもと、公開にて委員会を開催しました。

協議事項は、満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業に係る予算執行予定金額

と内訳についてです。

最初に、執行部より一括支払い施設整備費の総額は、税抜きで29億4,212万3,211円、そのうち、平成24年度施設整備分は、24億9,386万3,845円で、5月末に支払いを予定していること、また平成25年度第1期一括支払い施設整備費予定分から工事変更に伴う955万円を差し引いた金額1億3,518万円の支払いを予定しているとの説明がありました。

委員より、設計業務からモニタリングを行うこととなっていたはずで、その資料が出ておらず実行できていないのではないかとの質疑があり、執行部より設計業務のモニタリングは、5月1日の全員協議会の資料である要求水準確認計画書の内容で、また建設業務のモニタリングは毎月提出されている工事監理報告書がそれであると考えているとの答弁がありました。

また委員より、体育館の内壁に生徒が手を突いてできた複数の穴について、強度不足であると思われるので、設計側に問題があったのか、施工側に問題があったのかを町が独自で調査しているのかとの質疑があり、執行部より、施工する段階で東日本大震災の影響を受け、部材の供給不足が起きたため、壁材が変更になったようであるが、設計の変更協議は受けておらず、大成建設側の落ち度であると考えている。壁の改修については、大成側の責任で強度不足を補う部材を上張りするように指示を出しているとの答弁があり、委員より、受注者側の重大な故意的違反で、減額対象に該当すると思われるため、交渉を行う必要があるとの意見がありました。

また委員より、今回の事件の発覚で壁以外の部分についての施工も懐疑的になるのは当然で、外部調査機関で設計図書と施設の再検査を行うべきではないかとの意見があり、執行部より、大成建設側の事情聴取を行ったが、体育館の壁以外にはないとの説明を受けたとの答弁があり、委員より、町との信頼関係を失墜させる行為であり、契約解除も視野に入れ、大成建設と交渉を行うべき、今後何らかの手だてを講じる必要があるとの意見があり、執行部より、弁護士等の専門家の意見を聞きながら対応していきたいとの答弁がありました。

その後、委員全員からの今回のサービス購入費の支払いについて意見を聴取し、集約した結果、1期分の支払いについてはモニタリング等に基づいた購入額の判断がなされていないが、会計手続上、また契約上、支払い期限が規定されているため、一応の支払いは認めることとするが、執行条件としてさかのぼってモニタリングをすることで、サービス購入費の減額が生じた場合は、今後の支払いをする上で減額措置をとることの了解を大成建設側に取りつけた後でなければ、執行を了承しないということで、執行部に意見し、理解を得、午後4時15分、委員会を閉会しました。

続きまして、去る6月6日、9時30分より、第1委員会室におきまして、委員全員、議長同席のもと、執行部より、満濃中学校PFI事業審議においては、町長、副町長、教育長、総務課長、会計課長、学校教育課長、満濃中学校改築対策室、所管事務調査におい

ては、町長、副町長、所管課長全員の出席により、総務常任委員会を開催しました。

議題は、満濃中学校PFI事業、所管事務調査、その他についてです。

町長挨拶の後、さきの総務委員会で指摘した設計・建設段階のモニタリングについて、執行部より、5月1日の全員協議会において示した要求水準確認計画書により行った。また、第1期分の支払いを完了し、まんでがんパートナーズに対し、2期以降での支払いの減額の可能性を伝えたとの答弁がありました。

委員より、サービス購入費の減額が見込まれることについて、まんでがんパートナーズに了承を得ておくよう、第1期分支払い時に条件をつけておいたが履行できたのかとの質疑があり、執行部より確約の返事は来てないが、了承されたものと考えているとの答弁がありました。

また委員より、体育館の内壁の施工のような故意の不備が見られたので、施設全体において設計どおりの施工ができていないのか、耐震構造も含め、調査を行う必要があるのではないかとの意見がありました。

また委員より、町へ提出された設計書と違った建材が使用されたことについて、契約解除までであるとの姿勢で交渉を行う必要があり、教育施設でもあるので、事故が起きてからでの調査では手おくれとなるとの意見がありました。

また委員より、PFI事業の個別外部監査を早期に委託するよう意見があり、執行部より、できるだけ早い時期に発注をしたいとの答弁がありました。

その後、所管事務調査に移り、総務課長より、行事報告、交通、消防、防災、選挙人名簿関係の状況報告の後、まんのう町地域防災計画について、県から秋口までに南海地震の被害想定等が出される予定で、その結果を計画に反映させ、防災会議の審議を経た後に、議会にお知らせしたいこと、復興関連の職員等の給与減額について、県下の状況を見て判断したいことの報告がありました。

委員より、琴南地区の消防屯所の詰所の整備について質疑があり、執行部より、公共施設等を有効に活用し、分団長会に諮っていききたいとの答弁がありました。

また委員より、各種団体への補助制度のあり方について質疑があり、執行部より補助対象団体の活動や経理状況を調査し、次年度の予算に反映したいとの答弁があり、委員より単純な一律カットはやめること、また決算資料として、各種団体の補助金の使途状況がわかる資料を提出するよう、意見がありました。

また委員より、みかど温泉の跡地利用について質疑があり、執行部より美霞洞八景が望める展望所兼駐車場として利用することになっているとの答弁がありました。

また、自主防災組織について質疑があり、執行部より現在9団体が結成されており、また、防災士の資格補助もあわせて、制度を活用してもらいたいとの答弁がありました。

また委員より、消防団の操法大会の実施について、消防団員の負担になっているようであり、新入団員勧誘時の支障ともなっていることから、見直しをしてはどうかとの意見があり、執行部より、消防団に伝えておく旨の答弁がありました。

また委員より、消防費の補助金の組み替えにより、予算を減額する必要があるのではないかとの質疑があり、執行部より、消防無線のデジタル化の工事を仲多度南部消防組合が発注したところであり、動向を見て最終の費用が確定してから減額措置をしたいとの答弁がありました。

次に、企画政策課長より、総合計画関連業務でヒアリングを実施したこと、定住自立圏形成について香川大学と協定を締結したこと、出資法人関係、土地開発公社、ことなみ・仲南両振興公社、グリーンパークまんのうの事業決算報告、町政懇談会の実施の状況、あいあいタクシー・福祉タクシーの利用状況、情報基盤整備事業、人権啓発事業、男女共同参画推進事業、長尾会館運営状況等について、報告と説明がありました。

委員より、グリーンパークまんのうがJVの一員としてまんのう公園の指定管理を受託したことで、営業活動に制限がかかる等の影響は出ているのかとの質疑があり、執行部より、公園への提案の履行のために、従来より営業の自由度は制限されていると思うとの答弁がありました。

また委員より、ファシリティマネジメントについて、さきの委員会で検討会を立ち上げ、2年後をめどに施設の廃止を含め、計画をつくと執行部が答弁しており、進捗を図るよう、意見がありました。

次に、税務課長より、平成25年度町税調定額について、また非木造家屋の構造入力誤りについて調査し、12棟が該当したので、税の還元を行ったことの報告と説明がありました。

委員より、誤課税の原因について質疑があり、執行部より中讃広域事務組合税システム導入時の家屋データの入力誤りが主な原因だと思うとの答弁がありました。

次に、会計室長より、振込通知書を廃止し、5カ月が経過したが、特に問題は起きていない。また5月31日で24年度の出納閉鎖を行ったとの報告がありました。

次に、琴南支所長より、琴南支所所管の事業報告がありました。

委員より、琴南支所の日直について、利用が低いことから廃止してはどうかとの意見があり、執行部より、検討していきたいとの答弁がありました。

次に、仲南支所長より、仲南支所所管の事業報告がありました。

以上、所管事務調査を行い、12時20分、委員会を閉会しました。

以上で、総務常任委員会の委員長報告を終わります。

○大岡克三議長 これをもって、総務常任委員会の所管事務調査に関する委員長報告を終わります。

ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

1番、川西米希子君。

○川西米希子議員 お尋ねいたします。6月6日、委員会の中で、まんのう町の防災計画について話し合いがなされたと思います。防災会議のメンバーについてですけれども、条例の改正によって、防災会議には女性の登用が可能になったと思いますけれども、この

会の中で、防災会議のメンバー、どの方が加わっているかということについての詳しい話し合いはなされたかどうか、お尋ねいたします。

○大岡克三議長 12番、大西君。

○大西豊総務常任委員長 その件については報告はありません。今後は、そういうことも含めて議論していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○大岡克三議長 1番、川西米希子君。

○川西米希子議員 わかりました。どうぞよろしくお願ひいたします。以上です。

○大岡克三議長 ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

日程第8 議案第1号 まんのう町税条例の一部改正について

○大岡克三議長 日程第8、議案第1号 まんのう町税条例の一部改正についての件を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程いたしました議案第1号 まんのう町税条例の一部改正につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

この改正は、地方税法の一部を改正する法律（平成25年法律第3号）、地方税法施行令の一部を改正する政令（平成25年政令第107号）及び地方税法施行規則の一部を改正する省令（平成25年総務省令第37号）が平成25年3月30日に公布されたことに伴う所要の改正でございます。

改正内容につきましては、税務課長より説明させますので、御審議の上、御承認賜わりますようお願い申し上げます。

○大岡克三議長 税務課長、田岡一道君。

○田岡税務課長 それでは、議案第1号 まんのう町税条例の一部改正につきまして、その主な改正内容を説明させていただきます。

税条例第34条の7及び税条例附則第7条の4に規定する寄附金税額控除に関する改正は、地方税法附則第5条の6第2項の新設に伴う所要の改正でございます。

これは、平成23年12月2日に東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法（平成23年法律第117号）が公布され、復興特別所得税が創設されたことに伴い、寄附金税額控除について、平成26年度から平成50年度までの各年度に限り、控除額の算定に用いる税率に復興特別所得税率を加算する措置を講じたものでございます。

次に、税条例附則第3条の2及び税条例附則第4条に規定する延滞金に関する改正については、地方税法附則第3条の2及び第3条の2の2の改正に伴う所要の改正であり、平成11年度の税制改正以来、14年ぶりに延滞金などの割合を引き下げるものでござい

す。

次に、税条例附則第4条の2に規定する公益法人などに係る町民税の課税の特例に関する改正は、租税特別措置法第40条にみならず規定の項が加えられたことにより、地方税法附則第3条の2の4が改正され、税条例に引用規定を追加したものでございます。これは、この租税特別措置法第40条に加えられた公益法人などの非課税承認が取り消されたときは、町民税を課すこととした改正でございます。

次に、税条例附則第7条の3の2及び税条例附則第23条に規定する住宅借入金など特別税額控除に関する改正は、地方税法附則第5条の4の2の改正に伴い、適用期限を4年間延長するとともに、控除限度額を引き上げたものでございます。これは、住宅取得に関し、消費税引き上げ前の駆け込み需要及びその反動などの影響が大きいことなどを踏まえ、消費税率引き上げに伴う影響を平準化する観点からの改正でございます。また、地方税法附則第45条関係の改正により、東日本大震災に係る住宅借入金など特別税額控除についても、同様の改正が行われております。

次に、税条例附則第17条の2に規定する優良住宅地の造成などのために土地などを譲渡した場合の長期譲渡所得に係る町民税の課税の特例に関する改正は、租税特別措置法第37条の9の2などが削除されたことによる地方税法附則第34条の2の改正に伴い、引用規定を削除するものでございます。

次に、税条例附則第22条の2に規定する東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長などの特例は、地方税法附則第44条の2の改正に伴い、東日本大震災により、その有していた居住用家屋が滅失などをして、居住の用に供することができなくなったものの相続人が当該家屋の敷地の用に供されていた土地などを譲渡した場合には、当該相続人は当該家屋を被相続人がその取得をした日から所有していたものとみなして、居住用財産を譲渡した場合の長期譲渡所得の課税の特例などの適用を受けることができることとした改正でございます。つまり、この特例を受けることができる対象者に一定の要件を満たした相続人を追加したものでございます。

以上、御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。この議案は、委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第1号は、総務常任委員会に付託いたします。

日程第9 議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正について

○大岡克三議長 日程第9、議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正についての件を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程いたしました議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

この改正につきましても、議案第1号の改正と同様、地方税法の一部を改正する法律等が本年3月30日に公布されたことに伴う所要の改正でございます。

改正内容につきましては、税務課長より説明させますので、御審議の上、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○大岡克三議長 税務課長、田岡一道君。

○田岡税務課長 それでは、議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正につきまして、その主な改正内容を説明させていただきます。

この国民健康保険税条例附則第20項の改正は、先ほど、議案第1号で説明しました税条例附則第22条の2の改正と同様、東日本大震災により、居住用家屋などが滅失し、その敷地など、一定の要件を満たした相続人が譲渡した場合には、居住用財産を譲渡した場合の長期譲渡所得の課税の特例などの適用を受けることができることとした改正でございます。

以上、御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第2号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 異議なしと認めます。

よって、議案第2号は、委員会の付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。

これより議案第2号 まんのう町国民健康保険税条例の一部改正についての件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○大岡克三議長 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第10 議案第3号 まんのう町介護保険条例の一部改正について

○大岡克三議長 日程第10、議案第3号 まんのう町介護保険条例の一部改正についての件を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました議案第3号 まんのう町介護保険条例の一部改正につきまして、提案理由を申し上げます。

介護保険料の普通徴収に係る延滞金の取り扱いにつきましては、議案第1号におきまして税条例の一部改正が行われることにより、町税及び国民健康保険税に係る延滞金の軽減が図られることとなります。介護保険料におきましても同様の措置を講ずるものであります。

御審議の上、御議決賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。この議案は、委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第3号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第11 議案第4号 まんのう町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

○大岡克三議長 日程第11、議案第4号 まんのう町後期高齢者医療に関する条例の一部改正についての件を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました議案第4号 まんのう町後期高齢者医療に関する条例の一部改正につきまして、提案理由を申し上げます。

後期高齢者医療において、町が徴収する保険料に係る延滞金の取り扱いにつきまして、議案第3号と同じく、議案第1号におきまして税条例の一部改正が行われることにより、町税及び国民健康保険税に係る延滞金の軽減が図られることとなり、後期高齢者医療の保険料におきましても同様の措置を講ずるものでございます。

御審議の上、御議決賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。この議案は、委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第4号は、教育民生常任委員会に付託いたします。

日程第12 議案第5号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算案（第1号）

○大岡克三議長 日程第12、議案第5号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算案（第1号）を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 ただいま上程されました議案第5号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算案（第1号）につきまして、御説明申し上げます。

1ページをお開きください。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、3ページの第1表をごらんください。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,608万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ99億9,908万5,000円とするものでございます。

第2条の地方債の補正は、5ページの第2表をごらんください。

これは、起債の目的のそれぞれの事業について、地域の元気臨時交付金を充当するために廃止するものでございます。

それでは、補正予算事項別明細書により歳入の補正に関する主なものを御説明申し上げます。

9ページをお開きください。

第14款国庫支出金1億6,744万8,000円の増額は、地域の元気臨時交付金1億6,100万円、地球温暖化対策推進事業費補助金644万8,000円の増額によるものでございます。

10ページをお開きください。

第15款県支出金334万2,000円の増額は、スクールソーシャルワーカー配置促進事業費補助金290万円、原子力エネルギー教育支援事業費補助金44万2,000円の増額によるものでございます。

11ページの第18款繰入金1,960万5,000円の減額は、主に第2項基金繰入金において、財源調整のための財政調整基金繰入金を減額したことによるものでございます。

12ページをお開きください。

第21款町債8,510万円の減額は、主に国の経済対策に伴う地域の元気臨時交付金を、それら事業に充当することによるものでございます。

続きまして、歳出に関する主なものを御説明申し上げます。

13ページをお開きください。

第2款総務費は2,395万2,000円の増額です。主なものといたしましては、第1項総務管理費のうち、第1目一般管理費206万4,000円の増額、第5目財産管理費1,518万円の増額、第9目防犯対策費644万8,000円の増額であります。

14ページをお開きください。

第3款民生費は、945万5,000円の増額です。主なものといたしましては、第1項社会福祉費において、第1目社会福祉管理費395万5,000円の増額、第2目老人

福祉費のやすらぎ荘管理運営事業費で550万円を増額いたしております。

15ページをお開きください。

第4款衛生費は4,425万8,000円の増額です。主なものといたしましては、第1項保健衛生費において174万2,000円の減額、第3項上水道費において、上水道事業会計繰出金を4,600万円増額したことによるものでございます。

16ページをお開きください。

第7款商工費は、第1項商工費において美霞洞温泉跡地整備に係る事業費として2,910万円を増額いたしております。

17ページをお開きください。

第8款土木費は財源区分の変更による補正です。主なものといたしましては、第2項土木管理費、第3目道路橋梁新設改良費において単独町費事業の財源を地方債から地域の元気臨時交付金に振りかえすることによるものでございます。

18ページをお開きください。

第10款教育費は4,068万円の減額です。主なものといたしましては、第1項教育総務費において、発達障害児就学支援事業費を270万6,000円増額、第2項小学校費において、追加事業として原子力エネルギー教育支援事業で満濃南小学校教育振興費を44万3,000円増額、第3項の中学校費において、第4目PFI事業費で4,410万円の減額、第5項社会教育費で、町内遺跡発掘調査事業費を27万1,000円増額、生涯学習施設整備事業費において、財源を地方債から地域の元気臨時交付金に振りかえしております。

なお、19ページに地方債の現在高等に関する調書を添付いたしておりますので、お目通しのほど、よろしく願い申し上げます。

以上、議案第5号 平成25年度まんのう町一般会計補正予算案(第1号)について、御説明申し上げます。

御審議の上、御議決賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。この議案は、委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

10番、藤田昌大君。

○藤田昌大議員 10番、藤田ですが、2点ばかり、ちょっと委員会で審議していただきたいと思ひまして、質疑を行いたいと思ひます。

1点目にですね、13ページのLED関係の導入、委員報酬で10万と、街路灯に622万6,000円とあります。この内訳は、何基あって、どんな予定をしていて、具体的にどうなるのかというのを、ぜひ委員会で十分審議していただきたいと思ひます。電球そのものもむちゃくちゃ高いようですので、その辺の部分がどういった経過でこうなるのかということ、ちょっと十分委員会のほうで審議していただきたいと思ひます。

もう1点、さっき言いました、南小学校の44万3,000円の件でありますけれども、歳出のほうでは、備品購入費になっておりまして、南小学校に特定された予算計上ですね。歳入のほうを見ますと、小学校費補助金ということで、具体的に原子力エネルギー教育支援事業費補助金ということになってますんで、これどういう中身か、ちょっと一番気になるんです。私の立場にしますと、小学校から原子力政策を推進していくんかいという部分がありますし、原子力エネルギーなら、これは四国電力でやれやというんがありますので、その辺の、何で県支出金の中からそういうのが出てくるのか。そして、その中身を十分精査していきながら、するのであれば、中立的な立場でメリット・デメリットありながら、どういう教育をしていくとか、そういうのを、ぜひ総務委員会の中で十分審議いただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。2点です。

○大岡克三議長 総務課長、齋部正典君。

○齋部総務課長 それでは、藤田議員さんの御質問にお答えをいたします。

このLEDの街路灯の導入の件でございますが、これは現在、町内の防犯灯、また街路灯でございますが、この維持管理は全て町が現在行っております。合併以降、電気代は原則地元自治会等でお支払いをお願いをしておるわけでございますが、合併までに設置しておりました住民要望の防犯灯、街路灯の電気代は、満濃地区を除き、行政が支払いをしております。請求書から設置数はわかるわけですが、設置場所等が十分にわからない状態が現在ございまして、維持管理する上で支障が出ているところでございます。

十 そういう中で、満濃地区においても、合併以前から電気代を地元が払っていただいております。逆に関数設置数がわからない、設置場所も不明ということの状態になっております。こういうことで、財産管理上も、台帳整理が不可欠というふうになりまして、担当が各地区の状況、情報を収集をしていたところでございますが、そういうやさき、環境省のほうで、この小規模地方自治体、地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業を公募してきました。短期間でございましたが、まんのう町はこれに提案をさせていただきます。事業計画を提出して、中四国で唯一、まんのう町だけが採択をされたところでございます。

この概要でございますが、この事業は、まず調査コンサルタント会社がまんのう町内の街路灯、防犯灯の現状分析、調査を全て行う。そして台帳を整理することになります。この費用を全て国が全額見ていただくということでございます。

十 なお、この台帳に従って、今度は町内のその防犯灯、街路灯を全てLEDにしていく。LEDにすることによって電気代がほぼ半額相当になっていくということでございます。要は、その工事費用とか、余分にかかるんではないかという御心配がございまして、これにつきましては、LEDの経費は、LEDの高い省エネによりまして、また長寿命化によりまして、光熱水費の軽減分を毎年リース契約で、リースで全部設置をしていただきます。その部分をリース契約で支払いをしていくということですから、今現在、電力さんに使用電気代を払っておるわけですが、その枠を超えることはないということです。そういう形

で、町内の全ての施設をLEDにかえていく。耐用年数も約15年近くもつということで、今の蛍光灯の2年から、約7倍ほど寿命化ということになりますので、そういう交換手間とか、そういうことも考えまして、導入を決定させていただいたところでございます。

それと、先ほど南小学校の件でございますが、これは、簡易放射線検知器を購入する、県のほうから全額出るわけでございますが、手回しの発電機とか、これによって電気、どういう形で電気ができるとかいう、そういう理科の実験に使うものを購入したりとか、放射線の性質実験機等を購入するというので、予算のほうに上がってきております。先ほど言いましたが、簡易の放射線の検知器、ガンマスカウトというものですか、こういうものも購入して、現在、福島のほうですから影響がないとは思いますが、まんのう町のほうにも、県のほうの放射線の飛散状況を時々発表しておりますが、学校のほうとしても、そういうもので、自分たちの身の回りにどのような放射能があるかというのを子供たちに学習をするということにも使われるようでございます。以上でございます。よろしくお願いを申し上げます。

○大岡克三議長 ほかに質疑はありませんか。

10番、藤田君。

○藤田昌大議員 課長のほうから十分な答弁いただきまして、LEDの問題については、いろいろまだまだ、私にもわからんところがありますし、器具そのものが高くと、後の維持管理、そういった部分も非常に問題が、するんが一番いいことだろうと思っております。そういった中で、どういった運用の仕方、今後の、それと新しい部分について、防犯の部分でありますから、出てくると思います。そういった部分を十分に委員会のほうで審議していただきたいと思っております。

もう1点、原子力政策の部分で、ガイガーカウンターみたいな部分が配置されるんかなという気がしました。今の説明で。ただ、なぜ、南小学校なんやという部分が一つ、ちょっと疑問に出てきます。満濃中学校ぐらいが一番いいんかなと思ったり、個人的な意見です、これは。そういった部分もありますので、決定した経緯なり、今後のあり方、例えば多分、大げさに騒いで、こんな機具売っしょんじゃないかなという気もしますし、伊方を想定してやっしょんかなと思うこともあります。そういった部分では、十分委員会の中で決定した経緯、今後のあり方も十分討議していただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。答弁は要りませんから。

○大岡克三議長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第5号は、総務常任委員会に付託いたします。

日程第13 議案第6号 平成25年度まんのう町水道事業会計補正予算案（第1号）

○大岡克三議長 日程第13、議案第6号 平成25年度まんのう町水道事業会計補

正予算案（第1号）を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 それでは、ただいま上程されました議案第6号 平成25年度まんのう町水道事業会計補正予算案（第1号）について、御説明申し上げます。

別添の補正予算書をごらんください。

2ページをお開きください。

資本的収入及び支出科目の収入において、第1款資本的収入、第2項補助金、第1目他会計補助金で4,600万円の増額を行い、支出において、第1款資本的支出、第1項建設改良費、第1目浄水設備改良費として3,133万2,000円及び第2目配水給水設備改良費として544万7,000円の合計3,677万9,000円の増額を補正しようとするものでございます。

6ページをお開きください。

内容といたしまして、資本的収入の第1款資本的収入、第2項補助金、第1目他会計補助金（地域の元気臨時交付金）として4,600万円の増額、支出といたしまして第1款資本的支出、第1項建設改良費、第1目浄水設備改良費といたしまして、天神山配水池緊急遮断弁設計委託料で403万2,000円、工事請負費で2,730万円及び第2目配水給水設備工事費として、老朽管更新工事設計委託料で124万円、工事請負費で420万7,000円の合計3,677万9,000円の費用でございます。

よろしく御審議、御議決賜りますようお願いいたします。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。

これより質疑に入ります。この議案は、委員会付託を予定しておりますので、質疑はあくまでも総括的、大綱的な質疑にとどめていただきたいと思います。質疑はありませんか。

5番、本屋敷崇君。

○本屋敷崇議員 3月の時点で、元気交付金の使途はどうする予定かという話やったときに、たしか新規での事業は行わないというお話だったと思うんですね。これ、完全に新規ですよ。先ほどの一般会計のほうで、組み替えをしてますけれども、起債部分の組み替えという形で入れてますけれども、この部分は、新規で、それも6月補正で上がってくるということですから、この3カ月の間に決まった経緯だと思うんですね。どこで、そういうふうな経緯になったのかという部分だけ教えていただけますか。

○大岡克三議長 総務課長、齋部正典君。

○齋部総務課長 本屋敷議員さんの御質問にお答えをいたします。

この水道事業につきましては、年度のときにもその計画はございました。今回、1億6,100万の地域元気臨時交付金が来てるわけですが、この後、第2次のこれが来る予定になってます。このあたりも、新たな事業をまた組んでいくということになります。

よって、もちろん、それも町の単独ではございますが、起債対象事業でないといけないということでもございましたので、今回のこの水道事業におきましても、基本的に改良工事

でございます、維持工事ではございませんので、起債の対象事業ということで、今回の事業とさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

○大岡克三議長 5番、本屋敷君。

○本屋敷崇議員 僕が質問したのは、3月の時点で、議会のほうで元気交付金、どういふものに使いますかと言ったときに、この事業名は上がって来てなかったという話ですよ。今回、6月補正で新規で上がって来たんやから、緊急性を要するものなんでしょうということ聞きたいわけですよ。その部分が答えていただけるかどうかというだけの話なんですけど。

○大岡克三議長 総務課長、齋部正典君。

○齋部総務課長 本屋敷議員さんの再質問にお答えいたします。

今回のこの事業名称のとおり、耐震を考えましての、一丁事あったときの水源地の確保ということで、緊急性を持つての工事となりますので、よろしくお願い申し上げます。

○大岡克三議長 ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終了いたします。

ただいま議題となっております議案第6号は、建設経済常任委員会に付託いたします。

日程第14 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について

○大岡克三議長 日程第14、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についての件を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

町長、栗田隆義君。

○栗田町長 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦についての提案理由を説明申し上げます。

次の者を人権擁護委員候補として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

住所、まんのう町佐文1014番地1、氏名、北山信夫。生年月日、昭和26年5月20日生まれ。

人権擁護委員は、人権擁護委員法を根拠とし、人権に関する啓発活動や相談活動等を行っており、全国の市町村を区域に設置されております。まんのう町におきましては、現在8名の人権擁護委員が法務大臣より委嘱されておるところでございます。

また、人権擁護委員の任期は3年であり、仲南地区の國重繁幸氏が平成25年6月30日で任期満了になりますことから、人権擁護委員法第6条に基づいて同じく仲南地区の北山信夫氏を後任として推薦するに当たって、議会の意見を求めるものでございます。

氏は、地域において積極的にさまざまな活動に参加し、地域社会で信頼されております。人権に対する理解に加え、誰からも慕われる人格や見識及び中立公正さを兼ね備えておることから適任であると考えております。

よろしく御審議の上、御承認賜わりますようお願い申し上げます。

○大岡克三議長 これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。
お諮りします。

諮問第1号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたい
と思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は、委員会付託を省略することに決定いたしました。

本案は、人事案件でございますので、質疑、討論を省略して採決いたしたいと思
います。
お諮りいたします。

ただいま議題になっております諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦については、
これに同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大岡克三議長 異議なしと認めます。

よって、諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦については、これに同意すること
に決しました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

なお、次回の会議の再開は6月18日、午前9時30分といたしたいと思
います。本議
場
に
参
集
を
お
願
い
い
た
し
ま
す。

本日はこれで散会いたします。

散会 午前11時42分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

平成25年6月17日

まんのう町議会議長

まんのう町議会議員

まんのう町議会議員

+